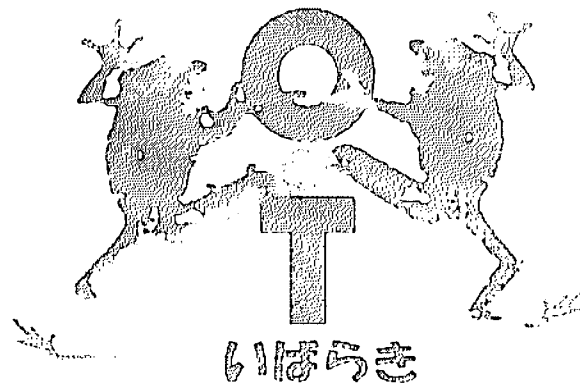


第4回

茨城県作業療法学会

テーマ 「在宅生活を支えるリハビリテーションPartⅡ」
—震災その後、暮らしの大切さを多職種で考える—



大会長 木幡 京子
日立梅ヶ丘病院

会 期 2012年 2月 19日 (日)

会 場 茨城県立医療大学
〒300-0394 茨城県稲敷郡阿見町大字阿見4669番地2
TEL. 029-888-4000

主 催 一般社団法人 茨城県作業療法士会

大会長挨拶

大会長挨拶

第4回 茨城県作業療法学会
大会長 木幡 京子（日立梅ヶ丘病院）

平成23年3月11日に発生した東日本大震災においてお亡くなりになりました方々のご冥福をお祈りいたします。また、被災された皆様のご健康とこころが回復することを切にお祈りいたします。作業療法士として、地域の医療職・福祉職の皆様、そして、地域住民の皆様と手を取り合い支援活動をつづけてまいりたいと思います。

今回の学会テーマは、「在宅生活を支えるリハビリテーションPartⅡ」とし、サブテーマを「震災その後、暮らしの大切さを多職種で考える」としました。未曾有の大震災により、茨城県内も深刻なダメージを受けたものの、この原稿を書いている7月現在において、県内全市町村のライフラインはすべて復旧し、日ごとにいつもの暮らしに戻ってきているように思います。来年度は、診療報酬・介護報酬の同時改定を控えた年であり、重要課題として地域包括ケアシステムの構築があげられています。社会が急激に変化していく中で、作業療法士は、地域の皆様の生活を多職種の皆様と協力しながら支えていくことができるよう考えなければなりません。地域が震災から復興し、我々医療職も含め地域住民全員が手を取り合いよりよい社会を作ることが地域リハビリテーションです。そのためには、それぞれの職種が役割を担い、責任を果たしていくことが必要です。

震災後に地域リハビリテーションはどのように変わったのか。診療報酬・介護報酬同時改定に向けて備えるべきことは何か。地域包括ケアシステムの構築に向け何をしていかなければいけないのかを話し合いたいと思います。

今回の学会も多職種参加型というスタイルをとっています。会員の皆様が臨床の中で、「感じたこと」「考えていること」「支えあっていること」を発表し、作業療法の専門性・多様性について語ることで、多職種の皆様の作業療法に対する理解が深まり、さらには新たな作業療法へつながることを期待しています。

参加費等

1. 参加資格

市民公開とし、特に制限はございませんので皆様お誘い合わせの上ご参加下さい。

2. 大会参加費

大会参加費は大会当日、受付にて徴収させていただきます。事前登録の必要はございません。尚、当会に所属している会員におきましては受付時に会員証の提示をお願い致します。

- ・会員2,000円
- ・非会員3,000円
- ・学生（学生証を提示）1,000円
- ・障害者とその付き添いの方（身体障害者手帳等を提示）無料
- ・65歳以上の方（年齢を証明するものを提示）無料

3. 閉会式および懇親会のご案内

大会当日、閉会式をかねて懇親会をおこないます。

日時および場所 2012年2月19日（日） 17:10～ 茨城県立医療大学 福利厚生棟1階
（会費無料です。多くの方のご参加をお待ちしております。）

プログラム

●受付 8:30~

●開会式 9:30~9:40

●特別講演 9:40~11:20

タイトル 「地域リハビリテーションと生活支援」(予定)
講師 藤原 茂 株式会社夢のみずうみ社 代表取締役
座長 黒木 徹 茨城県作業療法士会 会長

作業療法士の職能は、生活を支援することです。地域包括ケアシステムの構築に向け、地域全体で高齢者を支える体制の整備が求められているなか、どのような生活支援を行っているのかをご紹介します。

●ポスター発表① 11:30~12:30

●ランチョンセミナー 12:50~13:30

地域貢献局ユーザー支援報告
報告者 茨城県作業療法士会各医療圏ユーザー支援事業担当者
座長 小森 裕一 水戸赤十字病院(作業療法士)

●パネルディスカッション 13:50~15:20

タイトル 「在宅生活を支えるリハビリテーション Part II」
パネリスト 能本 守康 株式会社ケアファクトリー代表(ケアマネジャー)
中山 敦 茨城福祉サービス副社長(福祉用具相談員)
小貫 葉子 茨城県立健康プラザ(理学療法士)
鈴木 孝治 国際医療福祉大学作業療法学科教授(作業療法士)
座長 木幡 京子 大会長

震災を経験し、改めて健康に生活できることの意味を考える方が多くなったことと思います。復興支援を通して多職種でどのような取り組みを行ってきたのか、患者様・ご利用者あるいはご家族が住み慣れた地域で健康に暮らすためには私たちは何ができるのか。在宅生活を多職種で支えていくことを改めて考えたいと思います。

●災害復興生活支援コンサート 15:30~16:00

ノリシゲ&RIA LIVE ACT

茨城県作業療法士会では、災害復興生活支援チームを組織し、岩手県・宮城県・福島県のボランティア活動を定期的に取り組んできました。震災復興こそ、地域リハビリです。今回は、岩手県で被災地支援に取り組まれているノリシゲさんと RIA さんお招きし、激励のコンサートを行います。被災地の思いを感じ、OTとして何をしたいのかを考えるきっかけになることを期待します。

●ポスター発表② 16:10~17:10

●閉会式・懇親会 17:30~